

神奈川県 の 農 林 水 産 業 の 概 要

特徴・取組

神奈川県は、関東平野の南西部に位置し、北は東京都に接し、東は東京湾に、南は相模湾にそれぞれ面している。北西部に連なる丹沢や箱根などの山間地域と東部丘陵地帯に挟まれた中央部を南に流れる相模川中下流域に平野が広がる。気候は、太平洋の黒潮の影響を受けているため、温暖で雨量の多い太平洋側気候である。

また、神奈川県の人口は約920万人で全国総人口の約7.5%を占め、全国2位となっている。

神奈川県内の事業所数は約29万事業所、従業者数は353万人、企業等の数は約20万企業であり、いずれも全国4位である。

また、産業大分類別の事業所数をみると、最も多いのは「卸売業、小売業」の約6万事業所（事業所数全体に占める割合21.4%）であり、このうち「飲食料品卸売、小売業」は約1万4千事業所あり、年間商品販売額は約5兆4千億円（全国の飲食料品卸売業、小売業の年間販売額に占める割合4.4%）となっている。

農業は、農家一戸当たりの耕地面積が1.01haと全国平均の3.0haと比べて規模は小さいが、野菜や花きを中心に、高い技術力を生かして農地を高度に利用した土地生産性の高い経営が行われている。耕地面積に占める畑の割合が80.3%と全国平均の45.7%と比べて高く、温暖な気候や大消費地に近いという利点を生かして、野菜や果実のほか、牛乳、豚肉など生鮮食料を中心とした生産が盛んである。

漁業は、黒潮の影響を受けるため相模湾や東京湾は多種多様な魚介類に恵まれている。また、三崎漁港を基地としたまぐろ類等の遠洋漁業のほか、わかめ類等の海面養殖業、あゆ及びうぐい・おいかわの内水面漁業が行われている。

基幹的農業従事者のうち65歳以上の割合は64%となっており、担い手の育成・確保が課題である。

このため、農家出身者以外の就農希望者や農業参入を希望する企業に対する就農相談窓口を設置するとともに、農家子弟を含む就農希望者を対象に必要な技術習得等の教育、研修を実施している。平成29年度から令和6年度の間、就農相談窓口の利用者数は2,245名で、うち265名が就農し24社の企業が農業に参入した。（同期間中の全就農者は1,223名、うち農家出身者以外は553名）

主な農林水産物

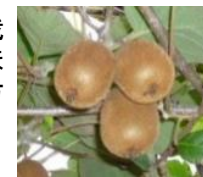
パンジー（花壇用苗もの類）

横浜市、川崎市、藤沢市を中心に栽培され、京浜市場への出荷、JA直売所、庭先等で販売されている。
（出荷量全国2位）



キウイフルーツ

県西地域を中心に栽培され、京浜市場のほか、北関東や東北地方にも出荷されている。
（収穫量全国4位）



うめ

小田原市を中心に栽培され、梅干し用は多くが近隣市町村で加工される。
（収穫量全国4位）



キャベツ

三浦横須賀、横浜、藤沢が野菜指定産地であり、京浜市場、北関東、東北地方、北海道にも出荷されている。
（収穫量全国6位）



だいこん

三浦横須賀が野菜指定産地であり、京浜市場のほか、北関東、東北地方、北海道にも出荷されている。
（収穫量全国5位）



めばち

漁獲量のほとんどが三浦市三崎港に水揚げされ、京浜市場を中心に出荷されている。
（漁獲量全国4位）



こまつな

横浜市、川崎市、平塚市、茅ヶ崎（ちがさき）市を中心に周年栽培されている。
（収穫量全国6位）



みかん

県西・湘南地域で栽培され、古くから、カナダへ輸出されている。
（収穫量全国13位）



生乳

湘南・県央地域を中心に乳用牛が飼養され、一部農家は乳製品の製造を行っている。



日本なし

横浜市、川崎市、小田原市を中心に栽培が行われ、そのほとんどが直売されている。
（収穫量全国14位）



神奈川県内の各地域における農林水産物

県央地域

【農畜産物】 水稲、トマト、きゅうり、レタス、スイートコーン、大豆、やまといも、いちご、日本なし、ゆず、ブルーベリー、茶、スイートピー、乳用牛（生乳）、鶏卵、豚

【林産物】 しいたけ

【水産物】 あゆ

横浜川崎地域

【農畜産物】 キャベツ、こまつな、ほうれんそう、のらぼう菜（川崎市で江戸時代から栽培されているナバナの一種）、さといも、ばれいしょ、日本なし、メロン、トマト、パンジー（花壇用苗もの類）、シクラメン（鉢もの類）、乳用牛（生乳）、肉用牛、豚

【水産物】 あなご、のり

横須賀三浦地域

【農畜産物】 キャベツ、だいこん、すいか、かぼちゃ、みかん、いちご、メロン、肉用牛

【水産物】 まぐろ類、さば、いわし、のり、わかめ、ひじき、たちうお、しらす

湘南地域

【農畜産物】 水稲、きゅうり、トマト、ねぎ、レタス、なす、さといも、いちご、みかん、らっかせい、オリーブ、日本なし、バラ（切り花類）、スイートピー、乳用牛（生乳）、豚、肉用牛

【林産物】 しいたけ、ひらたけ

【水産物】 しらす、はまぐり、わかめ

県西地域

【農畜産物】 水稲、なす、たまねぎ、さといも、いちご、キウイフルーツ、日本なし、うめ、みかん、湘南ゴールド（神奈川県育成のかんきつ）、いちじく、レモン、茶、肉用牛、乳用牛（生乳）

【林産物】 しいたけ

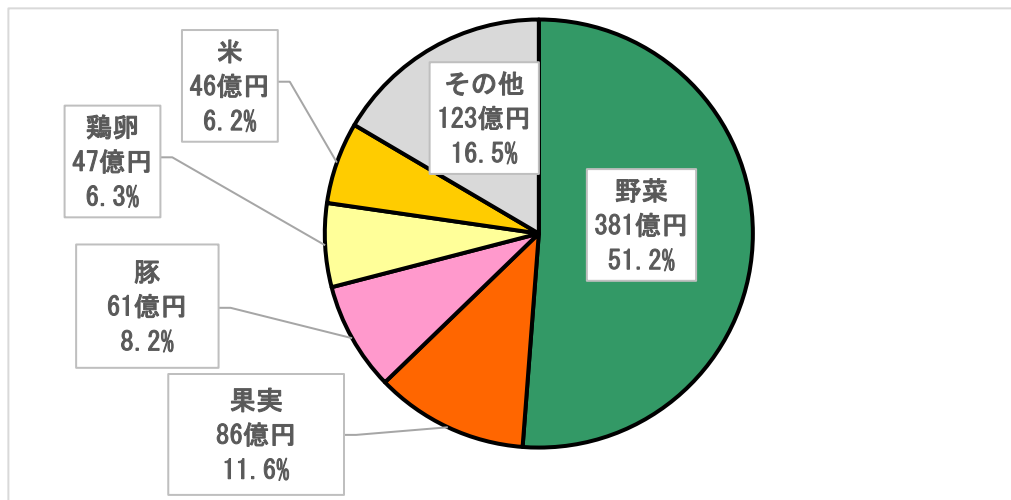
【水産物】 まあじ、わかさぎ



神奈川県 の 農 業 (1)

- ・ 農業産出額は744億円で全国42位。うち米が46億円 (6.2%)、野菜が381億円 (51.2%)、畜産が160億円 (21.5%)。
- ・ 農畜産物の生産状況は、パンジーが全国2位、うめ、キウイフルーツが4位、だいこんが5位、こまつな、キャベツ、ばらが6位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分	年次	神奈川県	全 国	全国順位
だいこん	収穫量	R6 66,500 t	1,082,000 t	5
こまつな	収穫量	R6 5,800 t	118,200 t	6
キャベツ	収穫量	R6 58,600 t	1,294,000 t	6
かぼちゃ	収穫量	R6 3,400 t	164,400 t	8
うめ	収穫量	R6 1,070 t	51,600 t	4
キウイフルーツ	収穫量	R6 1,210 t	20,600 t	4
みかん	収穫量	R6 9,340 t	559,600 t	13
日本なし	収穫量	R6 3,300 t	172,700 t	14
ばら	出荷量	R6 8,380 千本	171,300 千本	6
パンジー	出荷量	R6 5,440 千本	96,900 千本	2

出典: 「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」

農業産出額のデータ

区 分	神奈川県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	744 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	42
米	46 億円 (6.2)	25,524 億円 (23.7)	45
麦類	x 億円	582 億円	- *
雑穀	0 億円	87 億円	38
豆類	1 億円	621 億円	28
いも類	18 億円	2,565 億円	17
野菜	381 億円 (51.2)	25,510 億円 (23.7)	23
果実	86 億円 (11.6)	10,112 億円 (9.4)	29
花き	42 億円	3,423 億円	26
工芸農作物	1 億円	1,577 億円	31
その他作物	x 億円	583 億円	- *
畜産	160 億円 (21.5)	36,654 億円 (34.0)	36
肉用牛	18 億円	7,861 億円	37
乳用牛	33 億円	10,035 億円	32
生乳	31 億円	8,937 億円	33
豚	61 億円	7,567 億円	26
鶏	47 億円	10,170 億円	35
鶏卵	47 億円	5,764 億円	30
ブロイラー	- 億円	4,259 億円	- *
その他畜産物	1 億円	1,021 億円	40
加工農産物	2 億円	565 億円	21

出典: 「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注: () は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方
 ・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
 ・表中に使用した記号は次のとおり
 「O」: 単位に満たないもの(例:0.4t→0t)
 「-」: 事実のないもの
 「…」: 調査を欠くもの
 「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。
 「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

神奈川県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は1万7,800haで全国45位。うち田が3,460ha、畑が1万4,300ha。
- ・農業経営体数は8,801経営体で全国41位。うち法人経営体数が314経営体で42位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は1,998経営体で全国33位。うち法人数が215法人で42位。
- ・農業生産関連事業は、農産物直売所の年間販売（売上）金額が277億円で全国14位、事業体数は770事業体で6位。

耕地面積

区 分	神奈川県	全 国	全国順位
耕地面積	17,800 ha	4,272,000 ha	45
田	3,460 ha	2,319,000 ha	45
畑	14,300 ha	1,952,000 ha	27
普通畑	11,100 ha	1,118,000 ha	22
樹園地	3,170 ha	248,600 ha	24
牧草地	- ha	585,900 ha	-
参考) 総土地面積	2,416.55 Km ²	377,979.74 Km ²	43

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	神奈川県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	1,798 ha	256,667 ha	39

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	神奈川県	全 国	全国順位
農業経営体数	8,801 経営体	836,054 経営体	41
法人経営体数	314 経営体	33,819 経営体	42
総農家数	17,499 戸	1,394,135 戸	38
販売農家数	8,153 戸	792,808 戸	42
参考) 世帯総数	4,223,706 世帯	55,830,154 世帯	2
集落営農数	5 集落営農	13,952 集落営農	44

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	神奈川県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	4,086 ha	2,627,068 ha	45
集積率	23.0 %	61.5 %	46

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	神奈川県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	13,025 人	1,036,228 人	34
男	8,343 人	659,332 人	34
女	4,682 人	376,896 人	33
65歳以上	8,316 人	721,311 人	38
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	63.8 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	1,998 経営体	212,136 経営体	33
法人数	215 法人	29,684 法人	42
参考) 人口総数	9,237,337 人	126,146,099 人	2

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	神奈川県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	5,394 百万円	1,006,107 百万円	40
	事業体数	280 事業体	26,910 事業体	41
農産物直売所	総額	27,722 百万円	1,134,381 百万円	14
	事業体数	770 事業体	20,960 事業体	6
観光農園	総額	973 百万円	39,113 百万円	15 *
	農業経営体数	170 経営体	4,350 経営体	8
農家民宿	総額	x 百万円	4,933 百万円	- *
	農業経営体数	0 経営体	770 経営体	42
農家レストラン	総額	x 百万円	39,900 百万円	- *
	事業体数	20 事業体	1,390 事業体	23

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

神奈川県 林業

- ・ 林業産出額は3.9億円で全国47位。うち木材生産が1.0億円、栽培きのこ類生産が2.8億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国46位、生きくらげ類が全国23位、薪が27位。

林業産出額

区分	神奈川県	全国	全国順位
林業産出額	3.9億円	4,769.8億円	47
木材生産	1.0億円	2,369.4億円	46
栽培きのこ類生産	2.8億円	2,322.7億円	45

出典：「令和6年林業産出額」

林野面積

区分	神奈川県	全国	全国順位
林野面積	93,474 ha	24,744,214 ha	44
国有林	9,492 ha	7,117,059 ha	41
民有林	83,982 ha	17,627,155 ha	43
人工林面積	35,566 ha	10,059,386 ha	43

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林業経営体数

区分	神奈川県	全国	全国順位
林業経営体数	101 経営体	23,300 経営体	42
法人経営体数	39 経営体	3,813 経営体	33

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区分	神奈川県	全国	全国順位
素材生産量	7 千m ³	19,763 千m ³	46
針葉樹	7 千m ³	18,398 千m ³	45
ひのき	3 千m ³	3,019 千m ³	39
すぎ	4 千m ³	11,716 千m ³	45
広葉樹	0 千m ³	1,365 千m ³	46
たけのこ	生産量 10 t	20,865 t	37
生きくらげ類	生産量 17 t	1,693 t	23 *
薪	生産量 656 層積m ³	99,161 層積m ³	27 *

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

製材工場数

区分	神奈川県	全国	全国順位
製材工場数	16 工場	3,547 工場	45
製材用素材の入荷があった工場数	16 工場	3,492 工場	45
国産材のみ	16 工場	3,013 工場	43
国産材と輸入材	- 工場	386 工場	-

出典：「令和6年木材統計」

神奈川県の水産業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は152億円で全国25位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のそうだがつお類が全国2位、めばちが4位、海面養殖業のこんぶ類が3位、内水面漁業のうぐい・おいかわが3位。
- ・漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が13億円で全国9位、事業体数は50事業体で3位。

漁業産出額

区分	神奈川県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	152 億円	14,785 億円	25
海面漁業	149 億円	8,894 億円	16 *
海面養殖業	4 億円	5,891 億円	31 *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	神奈川県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	819 経営体	65,662 経営体	27
内水面漁業経営体数	25 経営体	4,076 経営体	37

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	神奈川県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	1,449 人	121,389 人	27
男	1,408 人	109,757 人	27
女	41 人	11,632 人	30

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	神奈川県	全国	全国順位
漁船隻数	1,397 隻	109,284 隻	28
動力漁船	638 隻	58,907 隻	29

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	神奈川県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	29,658 t	3,589,121 t	25 *
海面漁業漁獲量	29,033 t	2,786,195 t	20
そうだがつお類	1,957 t	14,943 t	2 *
めばち	1,986 t	29,021 t	4 *
海面養殖業収穫量	625 t	802,927 t	30 *
こんぶ類	40 t	24,554 t	3
わかめ類	348 t	39,658 t	7
内水面漁業・養殖業生産量	153 t	47,046 t	30 *
内水面漁業漁獲量	111 t	17,915 t	14
あゆ	101 t	1,414 t	5
うぐい・おいかわ	5 t	52 t	3
内水面養殖業収穫量	42 t	29,131 t	33
その他のます類	16 t	2,074 t	21

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	神奈川県	全国	全国順位	
水産加工	総額	1,022 百万円	193,147 百万円	25
	事業体数	50 事業体	1,160 事業体	5
水産物直売所	総額	1,254 百万円	34,259 百万円	9 *
	事業体数	50 事業体	780 事業体	3
漁家民宿	総額	36 百万円	5,440 百万円	24 *
	事業体数	10 経営体	540 経営体	13
漁家レストラン	総額	581 百万円	13,511 百万円	9 *
	事業体数	20 事業体	380 事業体	4

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

神奈川県農林水産業の話題等

県産農林水産物のブランド力の強化と情報発信

神奈川県の各地では、気候風土を生かした様々な農林水産物が生産されている。これらの利用拡大を図るため、神奈川県ではブランド力の強化や情報発信による認知度の向上を目指している。

ブランド力強化の取組として、県と生産者団体で構成している「かながわブランド振興協議会」において、統一の生産・出荷基準を守り、一定の品質を確保しているなどの条件を満たした神奈川県産の農林水産物やその加工品を「かながわブランド」として登録している。

令和7年8月には「藤沢生まれの藤稔」、12月には「湘南潮彩レモン」と「芦ノ湖のわかさぎ」が新たに登録品として加わった（令和8年3月末現在：76品目131登録品）。

県産農林水産物の情報発信としては、かなさんの畑のHPやInstagramを活用し周知を図っているほか、令和7年度には、横浜駅やみなとみらい駅において、かながわブランドをPRするデジタルサイネージやポスターの掲載を行った。

さらに、WEB物産展「かながわのおいしい農水産物」を開催し、かながわブランドの特集コーナーを設けた。



かながわブランドマーク



藤沢生まれの藤稔



湘南潮彩レモン

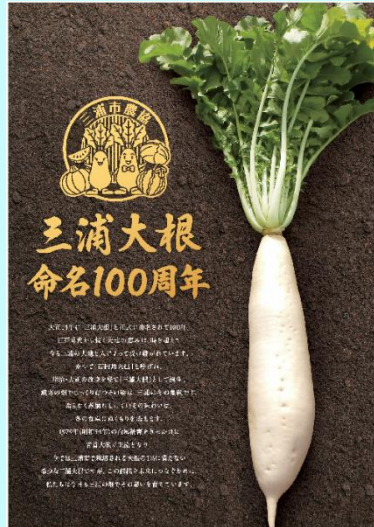


芦ノ湖のわかさぎ

三浦大根命名100周年

三浦市が誇る伝統野菜「三浦大根」は、肉厚で柔らかく、煮物にすると味が染みやすいのが特徴で、長年にわたり多くの家庭や飲食店で親しまれている。

この三浦大根の命名100周年を記念し、三浦市では商品開発や飲食店企画、イベント開催、出版、そして積極的なプロモーション活動を実施。これにより、三浦大根の歴史や美味しさを広く伝え、多くの方々に親しみを持っていただく機会を創出した。また、この取り組みを通じて地場産品の認知度向上を図るとともに、三浦の農業の発展と地域活性化につなげていく。



ナスの新品種「かな紫」

葉や茎、へたにとげがなく、果実の形が安定した多汁質なナスの新品種「かな紫」(かなむらさき)を育成し、令和7年10月10日に品種登録された。

神奈川県では、多汁質なナス品種「サラダ紫」を育成し、平成21年に品種登録されているが、とげなし化や果形の安定化が求められたことから、とげがなく、乱形果を含む障害果の発生が少ない多汁質なナスの品種育成に取り組んだ。



ナスの新品種「かな紫」